第74回カンヌ国際映画祭 東京TYALDE CAUNES 脚本賞受賞ほか全4冠

ドライブ・マイ・カー

西島秀俊

三浦透子 霧島れいか

パク・ユリム ジン・デヨン ソニア・ユアン アン・フィテ ペリー・ディゾン 安部聡子

岡田将生

監督:濱口竜介

原作:村上春樹「ドライブ・マイ・カー」(短編小説集「女のいない男たち」所収/文春文庫刊)

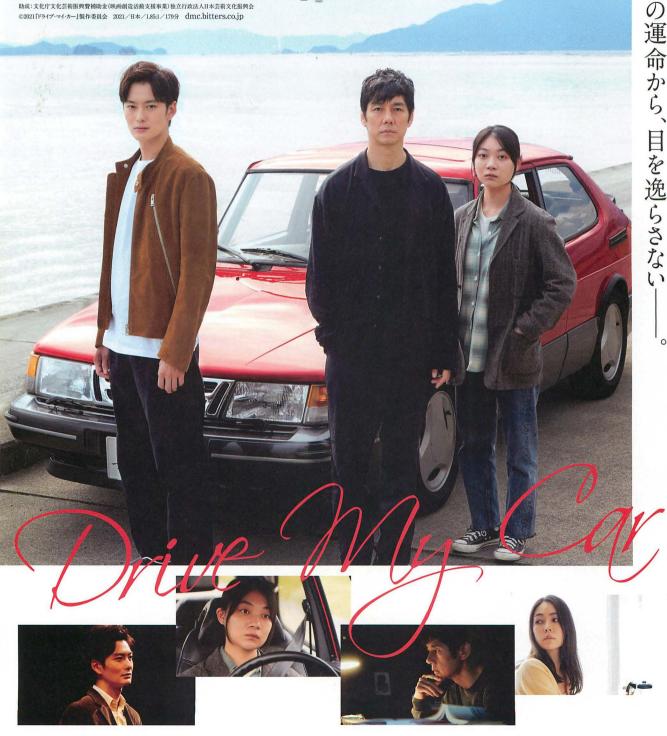
脚本:濱口竜介 大江崇允 音楽:石橋英子

ー:近藤多聞 イ・ウンギョン 撮影:四宮秀俊 照明:高井大樹 録音:伊豆田廉明 美術:徐賢先 装飾:加々本麻未

スタイリスト:領職春樹 ヘアメイク:市川温子 編集:山崎梓 リレコーディングミキサー:野村みき 監督補:渡辺直樹 大江崇允 助監督:川井隼人 久保田博紀 韓国コーディネーター:クォンミジ

製作:『ドライブ・マイ・カー』製作委員会(カルチュア・エンタテインメント、ビターズ・エンド、ねこじゃらし、クオラス、日本出版販売、文藝春秋、レスパスビジョン、C&Iエンタテインメント、朝日新聞社)

製作幹事: カルチュア・エンタテインメント、ビターズ・エンド 制作プロダクション: C&Iエンタテインメント 配給: ビターズ・エンド 🙉 🛤



妻との記憶が刻まれた車。聴けなかった秘密。辿りつく場所――。







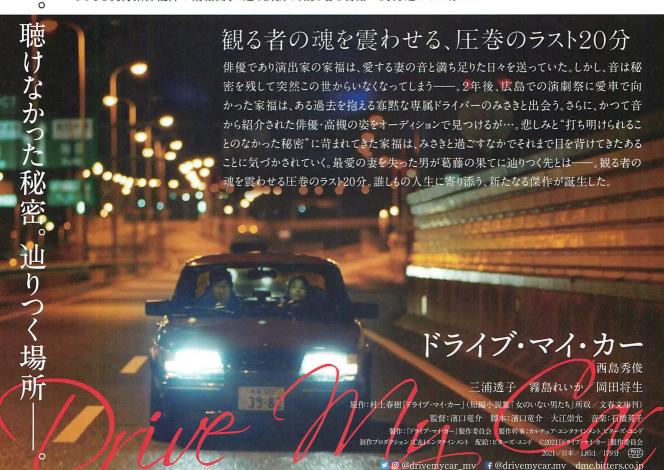




第74回カンヌ国際映画祭 脚本賞受賞ほか全4冠

原作:村上春樹×主演:西島秀俊×監督:濱口竜介 カンヌ4冠達成、世界が熱狂!映画史を書き換える、新たなる傑作誕生

数々のベストセラーを生み出してきた村上春樹による、珠玉の短編小説「ドライブ・マイ・カー」。この作品に惚れ込み映画化を熱望、自ら脚本も手掛けるのは、いま世界が最も熱い注目を寄せる濱口竜介監督。これまで、カンヌ(『寝ても覚めても』コンペ部門出品)、ベルリン(『偶然と想像』銀熊賞受賞)、ヴェネチア(共同脚本作『スパイの妻』銀獅子賞受賞)と世界三大映画祭を席巻し、その名を轟かせてきた。待望の最新長編作となる本作も見事、本年度のカンヌ国際映画祭で日本映画として史上初となる脚本賞を受賞。加えて、国際映画批評家連盟賞、AFCAE賞、エキュメニカル審査員賞も受賞し、4冠を達成する快挙を果たした。これまで、圧倒的な脚本力と豊かな映画表現で人間がもつ多面性や複雑な感情をあぶりだしてきた濱口監督。本作では、原作の精神を受け継ぎながらも「ワーニャ伯父さん」など演劇史上に輝く傑作の要素を大胆に取り入れ、ストーリーと重層的に呼応しあう驚異的な物語を紡ぎだした。主人公の家福を演じるのは、日本映画界に欠かせない名優、西島秀俊。ドライバーのみさきを三浦透子が演じるほか、キーパーソンの高槻を岡田将生、音を霧島れいかが演じるなど実力派俳優陣が集結。胸に迫る演技で、観る者を物語へと引き込んでいく。



8/20金 全国ロードショー

ビ ムビディフカード ¥1.500(税込) ······· 絶賛発売中!

劇場窓口でお買い求めの方には、特製しおりをプレゼント!(※限定数/一部劇場除く)